

令和6年7月26日

市政記者クラブ様

港消防署総務課
担当：森・種本
電話：661-0119
(愛知県と同時発表)

 名古屋市港消防署 × 愛知県立南陽高等学校
高校生が地域住民と防災訓練

1 趣旨

- (1) 大規模災害発生時において、地域応急対策活動での活躍を期待する高校生に対して自主防災活動に係る知識や技術を教養するとともに「防災の担い手」としての自覚を助成する。
- (2) 防災訓練を通じて防災意識の醸成を図るとともに平素から助け合いができる地域づくりを目指し、地域の活性化に努める。

2 訓練日時・場所

令和6年9月2日(月)9時30分から12時00分
愛知県立南陽高等学校（港区大西2丁目99-135）

3 訓練内容

- (1) 地震体験(起震車)
- (2) 重量物除去訓練
- (3) 煙道体験
- (4) 応急担架作成及び応急処置訓練 など

4 訓練参加者

- (1) 愛知県立南陽高等学校生徒 約600名
- (2) 南陽学区地域住民 約100名(近隣の幼稚園児等含む)

5 その他

愛知県立南陽高等学校の防災委員等の生徒が8月2日(金)13時00分から港消防署南陽出張所において事前訓練を実施します。

【県内高校初】高校から地域と命をつなぐ防災教育！消防とのコラボ体験活動あり！南陽高校で防災に関するイベントを開催

▲イベント実施日：2024年9月2日（月）

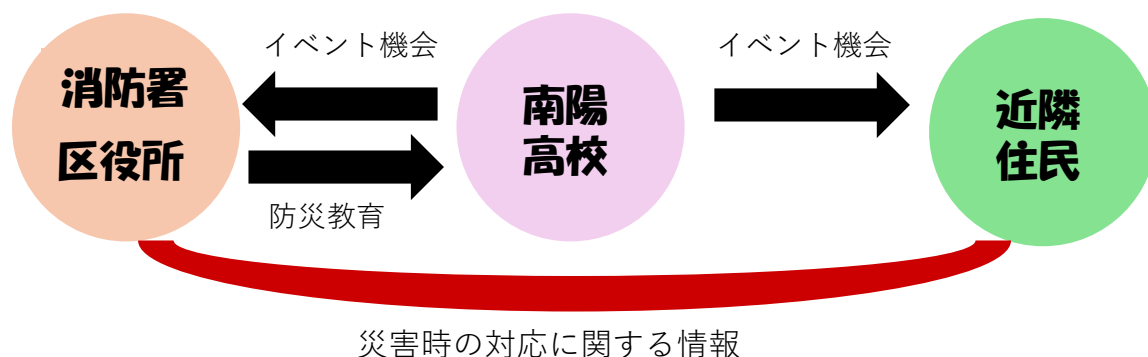
2023年度までのコロナ期間を除き、近隣住民や近隣保育園の園児と本校で避難訓練を実施していました。今年度は港消防署および港区役所と連携し、防災に関する本イベントを通じて、大きな災害が予想される港区で防災意識を高めていきます。

避難所としてだけでなく、避難所運営の担い手として期待される高校生

区役所や港消防署によると「避難所では小さな子どもから年配の方まで多様な方々が同一の避難所生活を送ることになる。その際には、力もあり普段から学校を使用している中学・高校生の協力がとても重要になる」とのこと。今回のイベントを通して、防災意識を高めつつ地域住民とふれあい、災害時に適切な行動をとれるように訓練する。

防災の啓発を進めたい消防署と災害対応の情報が欲しい地域住民の架け橋

消防署は、地域住民へ防災の啓発活動を行う中で、地域住民も災害時の行動について知る機会を求めている。特に南陽高校周辺は新築住宅が多く土地勘があまりないという方も見受けられる。今回のイベントを通じて、地域住民の防災意識の向上に繋がる機会にしたい。



【今後の予定】

- 8月2日 南陽出張所で防災委員と希望生徒に事前訓練
- 8月末 本校職員の打ち合わせ、準備
- 9月2日 本番

※今年度からのイベントのため、近隣住民への告知も兼ねて、事前訓練から取材していただくと幸いです。

【お問い合わせ先】愛知県立南陽高等学校 総務主任：吉橋 忠昭（ヨシハシ タダアキ）
TEL:052-301-1973 Mail:yoshihashi8660@aichi-c.ed.jp